

平成20年におけるボイラー等の 災害発生状況

平成20年に発生したボイラー及び圧力容器関係の事故のうち、重大なものとして事故発生の事業場を所轄する労働基準監督署で調査を実施した事故は4件であり、これらの事故に伴う死傷者は15名であった。

容器の内訳は、ボイラーの事故2件で死傷者1名、第一種圧力容器の事故が1件で死傷者13名、(圧力気体保有)容器の事故が1件で死傷者1名となっている。

業種の内訳は、製造業が3件(死傷者14名)、建設業が1件(死傷者1名)となっている(表1参照)。

事故の種類別にみると、破裂が3件、爆発が1件となっている(表2参照)。

これらの事故の要因についてみると、4件の事故に対して5件の要因が認められる。これらの要因の内訳は、「構造の欠陥」が3件、「管理の不良」が2件である。さらに、「構造の欠陥」については、「溶接工作不良」が1件、「構造不良」が1件、「その他」が1件(燃料弁の作動不良)となっており、「管理の不良」については、「点検整備の不良」が1件、「作業方法手順の誤り」が1件となっている(表4参照)。

表1 ボイラー及び圧力容器の災害の業種別件数、死傷者数

(平成20年)

業種	ボイラー等の種類		ボイラー		小型ボイラー		第一種圧力容器		第二種圧力容器		(圧力気体保有)容器		計	
	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数
合計	2	1(1)			1	13(0)					1	1(1)	4	15(2)
食料品製造業											1	1(1)	1	1(1)
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	0(0)											1	0(0)
化学工業					1	13(0)							1	13(0)
建設業	1	1(1)											1	1(1)

()内は死亡者数で内数

表2 ボイラー及び圧力容器の災害の種類別件数、死傷者数

(平成20年)

事故の種類	ボイラー等の種類		ボイラー		小型ボイラー		第一種圧力容器		第二種圧力容器		(圧力気体保有)容器		計	
	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数	事故件数	死傷者数
合計	2	1(1)			1	13(0)					1	1(1)	4	15(2)
爆発	1	0(0)											1	0(0)
破裂	1	1(1)			1	13(0)					1	1(1)	3	15(2)

表 3 ボイラー及び圧力容器の災害の種類別件数

(平成20年)

ボイラー等の種類 事故の種類	ボ イ ラ ー								小型 ボイラー	簡易 ボイラー	第一種 圧力容器	第二種 圧力容器	(圧力 気体保有) 容器	合 計		
	蒸 気							温 水							貫 流	小 計
	水 管 式	立 て 形	炉 筒 煙 管 式	鑄 鉄 製	横 置 煙 管 式	廃 熱	そ の 他									
合 計							1	1		2			1		1	4
爆 発								1		1						1
破 裂							1			1			1		1	3

表 4 ボイラー及び圧力容器の災害の要因別件数

(平成20年)

ボイラー等の種類 事故の要因	構造の欠陥						管理の不良							安全装置不良			合 計			
	溶 接 工 作 不 良	板 厚 不 良	材 質 不 良	構 造 不 良	自 動 制 御 装 置 の 不 備	そ の 他 計	点 検 整 備 の 不 良	監 視 不 良	計 装 器 類 の 故 障	作 業 方 法 手 順 の 誤 り	技 能 の 未 熟 (無資格も含む)	給 水 を 怠 る	水 処 理 の 不 適	そ の 他 計	機 能 不 良	具 備 し て い な い		小 計		
合 計	1			1		1	3	1			1						2			5
ボ イ ラ ー	1			1		1	3													3
小型ボイラー																				
簡易ボイラー																				
第一種圧力容器										1							1			1
第二種圧力容器																				
(圧力気体保有)容器								1									1			1

(注) 1件の事故で要因が2以上になることもある。

